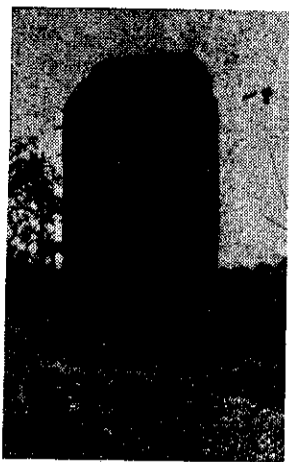


芭蕉の句碑を建立

鏑南雅会々員が

小幡忠盛塔入口に俳聖芭蕉翁の句碑が立ち、11月25日その除幕式が行なわれました。これは、昭和8年に発足した鏑南雅会(現在会員三十余名)の人たちが建設したものです。芭蕉翁が弟子の曾良を従え、陸奥の旅への途中、日野村(現在藤岡市日野)鹿島にきました。その縁故により当地地方にも俳句が流行し、明治年間には、甘楽町にも有名俳人が続出し、小幡(中幡)草花(野中捨松、新屋)藤舟(新井謙五郎、秋畑)などは各地の宗匠と親交を厚くし大正初期には、句会は大盛況をきわめました。また、小幡の柳(関桑吉)、新屋の甘喜(山田喜作)の両氏は、今日まで後輩を導いてきた功労者です。

昭和になつて漸次衰えたのを憂慮し、昭和8年鏑南雅会と改組して発足、それより例会を続けています。このように、古い伝統のある郷土文化を永久に記念するためゆかりも深い芭蕉翁の句碑を立て、郷土の俳歴の一端をしのぶよすがとしたのです。句碑の大きさは横約七十六センチ、高さ約百五十一センチで旅人と我名呼ばれん初時雨



写真(上)は 志靈塔 芭蕉の句碑 (下) はその会員たち

電気のちしき

コンセントを使おう

電化器具はコンセントから使います。生活文化の向上した今日では家庭用電化器具を持つことは、ぜいたくとはいへません。また家庭電化器具の普及状態をみましても必需品であることが明らかです。電化器具をお買いになるまえに、配線とコンセントの点検整備をいたしましょう。コンセントは、

と、芭蕉が陸奥へ旅立つときの句がきざまれています。

器具を使用するのには便利のように、手近のところに取り付けましょう。洋室では、開いたドアのかけにならないように、和室では、柱近くになるべく低く取り付けるのが便利です。ふすまの多い日本家屋では、畳上せに床下配線と日本間用コンセントを取り付けますと、非常に便利です。せんとく機や冷蔵庫は、その器具より高めにコンセントを取り付けて下さい。家を新築する場合は、居間は二口用一カ所以上、台所に二口用一カ所以上は最少限度として取り付けを必要といたします。増築、改築の場合も、新築と同じに考えて設備してください。電化器具は安全に、便利に、経済的に使しましょう。(電気安全富岡地方委員会)

みかんの皮の利用法

みかんの皮には実よりも多くのビタミンCが含まれているほか、ビタミンAと同じ働きをするカロチン、皮ふに良い影響をあたえるペクチン類、においの良い精油類がたくさん入っています。ですから、いろいろ利用することが出来ます。粉にすれば、そばやなべもの、の薬味になります。漢方では「陳皮」といわれ、健胃剤とされています。生のまま細かく刻んだものは、漬物、とくに野菜の即席漬に入れると、風味があつて大変

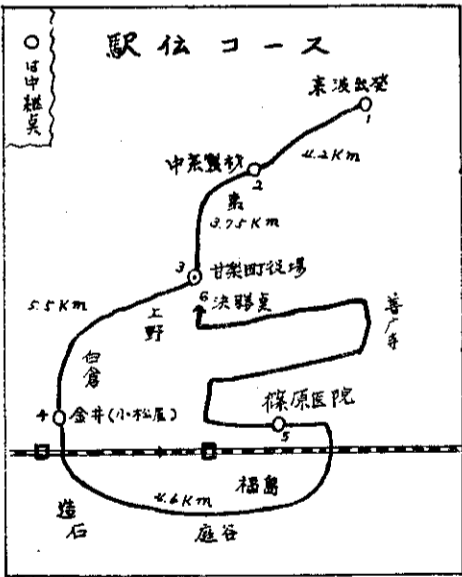
身体障害者 竹細工を習う

甘楽町の身体障害者更生会(会員百六十八人)では、11月22

甘楽町一周駅伝

元旦に実施

甘楽町体育協会(会長篠原良一)主催第二回駅伝競技大会は第一回に引き続き、来春元旦に実施します。今回は、コースを少し変更し、下図のとおり善慶寺をまわることになりました。甘楽町の36年の景気よいため、大会が盛大に行なわれるよう、みなさんの応援をお願いします。



結婚式は簡素に

結婚式はむだをなくして新郎新婦に祝福を。それには、甘楽町の新生活運動による新様式で結婚式を行なおう。新家庭のスタートは新生活で



日から二週間、渋川市の栗原勲氏を講師に招き、竹細工の講習会を行ないました。この講習会には十五人の会員が参加、熱心に受講されました。その結果、写真のような素晴らしい花たてや、くだものかがができました。今後の活動が期待されます。写真はその作品。

来春の成人式

一二五五人が該当

36年1月15日に行なわれる成人式の該当者は、次のとおりです。もし、もれている人がいますら早めに教育委員会へ申し出て下さい。

- 大宇小幡 伊藤茂夫、山田員子、井上順子、熊井戸秋枝、齊藤公代、倉茂幸一、中野延子、田村静子、布瀬東子、小林久子、北村務、高橋アイ、高麗一郎、加藤妙子、宗意紀代、伊藤ウメ代、山田ふみ子、熊井戸功、山田房次郎、松浦勉、新井安五郎、富田アツ子、小沢葉子、北村逸男、高橋幸枝、中野健一、太田誠一、細谷文男、田村利子、掛川さと江、大野サ江、佐藤三郎、田村信男、富山武十郎、桑原美恵、野口和江、齊藤卓伺、佐俣今朝一、横尾和子、中野アサ江、有井満里子、堀口和子、井田淳一、松井佳子、松浦春江、山本とし子、齊藤幸弘、井田幸江、大宇上野 新井健一、吉田満子、黒沢浩子、吉田かず江、由田幸美、由田喜久雄、由田桂子、吉田偉子、黒沢充江、田中邦子、関弥生、田中繁尚、田中容子、吉田智、吉田保、吉田キヨ、吉田静江、関恒子、大宇轟 田村文代、宇佐美房子、大塚博章、田村八重子、大宇國家 高麗文夫、富岡今朝造、齊藤登有井サイ、中野寛一、山田山江、中野益行、田村美佐夫、田村真太郎、関かず江、遠田金蔵、井上かの、中野友江、大宇善慶寺 富岡のぶ、柳沢鶴子、富岡進、飯塚政代、山田富美代、山田陽子、齊藤健一、齊藤嬢子、黒沢はつゑ、森田とみ子、丸沢さと江、丸沢坂子、丸沢登一、清水美恵子、田村栄子、中野千枝子、結城たか江、鈴木喜好、落合暉男、大宇福島 鈴木紀代子、高橋和男、増茂峯子、篠原弘司、山口昇、山口郁子、小林美枝子、田中米子、島崎和子、金沢宏代、矢島基夫、山口美代、河田和江、勸使河原具、佐藤マス子、小林伝子、上原千代子、山田計光、山田栄一、根岸栄、中島次四郎、石井昭一、大宇小川 高木幹男、深沢美代子、...

新生活と貯蓄の話

増える貯蓄に減る主婦労働

「主婦労働の軽減」を旗じるしに結成された婦人ばかりの会があります。

高知市の東方一六キロメートル、香美郡野市町香宗の婦人たちが、この村は米、タバコなど農産物が豊富な反面、それにとりまわらぬ主婦たちの労働が非常に激しく、これを解消しなくては昭和三十二年四十名の主婦が集まり、「むつみ会」を結成、その活動に必要な先立つものを貯蓄するた

現在までの話し合いでは、貯蓄源として卵貯金、手袋あみの内職、野菜の計画栽培などが話題となり、また、住居改善の面でも当地は井戸が非常に深く、そのため、つるべによる水の汲み上げが主婦にとつて大変な負担となつていることから、井戸の自動式ポンプへの切り替えをはじめかまどの改良、太陽熱利用の天火風呂の設置などが熱心に検討されています。

毎月五百円、六カ月満期の月掛貯金を始めました。毎月定められた貯金日になると、部落内の香宗保育園に皆が集まり、保育園入口で貯金の払い込みを済ませてのち会の活動の基本方針や、具体的内容などについてお互いの話し合うこととし、時には講師を招いて話を聞き、環境衛生の改善、レクリエーションなど自主的な行事を行なうこととしていっています。

明るい一家

